

標茶町博物館

「ニタイ・ト」

開館に向かって展示作業が進んでいます。

7月1日(日)開館予定の標茶町博物館 ニタイ・トでは、展示空間の最終的な仕上げ作業まで進んでいます。多くの博物館は新規開館する場合、学芸員が基礎プランを練り、それに基づき展示専門業者に委託して、以降は展示専門業者が中心となり展示を造作する場合がありますが、当館の場合は学芸員とそのスタッフが中心となり、細かな展示パネルや図、そして展示資料配置を決めて製作しました。

新しい博物館には、展示室が5つあります。

- ①「大昔の標茶」（縄文時代～アイヌ文化期までの先史時代の展示）
- ②「標茶のアイヌ文化」（江戸後期～昭和期までのアイヌ文化の展示）
- ③「標茶の近代」（明治以降の標茶市街、地域の歴史に関する展示）
- ④「トンボ博士 飯島一雄 ～飯島コレクション～」(標茶の昆虫に関する展示)
- ⑤「標茶の自然」（標茶町の動物や植物に関する展示）



① 大昔の標茶



② 標茶のアイヌ文化



④ トンボ博士 飯島一雄



⑤ 標茶の自然

標茶町郷土館にて展示していた資料を中心に配置していますが、展示スペースが広がったため、これまで展示していなかった資料を多く追加しています。また「標茶のアイヌ文化」「標茶の近代」展示室は、天井が高く開放的な展示空間で、高さを生かした資料配置を行ったほか、障がいのある方などのためにエレベーターを設置、ゆっくりと時間をかけて鑑賞できるよう、展示途中で休憩できる椅子をいくつかの展示室内に配置しています。

新規開館する7月1日は、オープニングセレモニーが行われるため、一般観覧は午後1時からとなります。

当日は参加者に記念品をお渡しするほか、午後1時より標茶町文化財専門委員長西幸隆氏による特別講演を行ないます。長年にわたり数多くの考古学調査を行ってきた西幸隆氏による貴重な内容となっています。講演は無料で参加することができます。

なお標茶町博物館ニタイ・トの展示を見学する際は、観覧料200円(税別)が必要です。初年度に限り、観覧料をお支払いいただいた方へ、オリジナルクリアファイルをお渡しします。

無くなり次第終了となりますので、お早めにご来館ください。お待ちしております。



大川のほとり
—郷土館だより(第78号)—
☎487-2332

郷土館より
一筆啓上
いっぴつ びい じょう

4月1日より自然専門とする高橋優花学芸員が着任し、歴史を担当する坪岡と共に、自然と歴史の質問に対応できる形となりました。どうぞよろしくお願いいたします。(坪)

渡り鳥ってどんな鳥？

暖かい日が続き、生き物たちが活発になる季節がやってきました。
今回は移り変わる季節と共にやって来る渡り鳥について紹介したいと思います。

1. 渡り鳥とは？

「渡り鳥」といっても実は渡りの時期などによってそれぞれ分類されています。

春に南の地域から渡来して日本で繁殖を行い、秋にまた南の地域に渡っていく種を「夏鳥」、秋に北の地域から渡来し春まで越冬したのち再び北へ渡っていく種を「冬鳥」、春と秋の渡りの途中に訪れる種を「旅鳥」といいます。また、渡りほど大規模ではないが近距離で繁殖地と越冬地を分けているような場合は「漂鳥」と呼び、通年同じ場所に生息するものは「留鳥」と呼ばれています。この中から「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」が毎年繁殖地と越冬地を長距離移動する「渡り鳥」とされています。



アオジ

写真のはく製は雌。雄は頭が暗灰緑色で目の周りが黒い。大きさはスズメより少し大きい。



オオジシギ

5～6月にかけて「ジジッ」「ズビャーク、ズビャーク」と鳴きながら上空を旋回し、飛行機のような羽音を出しながら急降下するディスプレイ・フライト（威嚇や求愛の意味を持つ行動）を見ることができます。

2. 「渡り」のメカニズムって？

「鳥たちがどのような経路を辿るのか」「なぜ毎年同じ時期に渡れるのか」などのさまざまな疑問がありますが、実は渡りに関する多くのことは未だ研究段階のものが多く、はっきりしたことはわかっていません。渡り鳥に関する研究は古くから行われてきましたが、海を越えて飛んで行く鳥たちを追いかけることは大変難しく、その実態は長年謎に包まれていました。

近年は発信機などの小型機器の性能が向上したことにより急速に研究が進んでおり、渡りの詳しい経路や移動距離など、今までは知られていなかったことが、解明されてきているところです。

今の時期、標茶町周辺では、ウグイスやアオジなどの「夏鳥」を多く見ることができます。
調べてみると意外と奥が深い渡り鳥。ぜひ探してみてください。

女性活動の合いこば

- 一、手と心をつなぎ、明るく豊かな町をつくりましょう。
- 一、互いに人格を認めあい、奉仕の心を養いましょう。
- 一、からだをきたえ、人生に希望と誇りをもちましょう。
- 一、お年寄りを敬い、子供を愛し、円満な家庭をつくりましょう。
- 一、力を合わせて、薫り高い郷土の文化をつくりましょう。

標茶町女性団体連絡協議会機関紙



第185号 平成30年6月1日

標茶町女性団体連絡協議会

発行責任者 会長 千葉 博子 標女連広報委員会

平成30年度 役員体制

役職	氏名	
会長	千葉 博子	
副会長	広報委員長	三枝由美子
	総務委員長	山口 紀子
	研修委員長	塩原トシ子
	男女平等参画委員長	北原千津子
会計	長尾 初子	
	島田まさ子	
事務局	江口サチ子	
	照井せい子	
監査	油谷 栄子	
	東理由美子	

平成30年度 役員理事

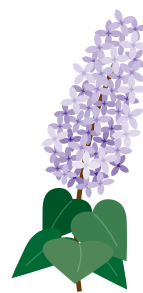
役職名	総務委員会	広報委員会
	氏名	氏名
委員長	山口 紀子	三枝由美子
副委員長	若木ミドリ	田中 一美
役職名	研修委員会	男女平等参画委員会
	氏名	氏名
委員長	塩原トシ子	北原千津子
副委員長	外川ゆかり	鳴川 純子

町内会女性部長

町内会・地域会	氏名
常盤	東理由美子
川上	野崎由美子
川上公住	大谷トモエ
開運	江端美智子
旭	三浦真理子
富士	平田 文子
桜	菊地紀代美
平和	村山美由紀
麻生	宮下 梅子
虹別	下 みさ子

平成30年度の活動を皆さんとともに

標女連会長 千葉 博子
 新緑が目にしみる、一番早い季節となりました。
 さて、平成30年度の総会も無事終え、新しい町内会役員さんも各部会に所属し、今年1年の行事計画が、承認されました。活動方針に従い「女性の合いこば」が示す、楽しくためになる学びを行っていききたいと思います。



「全道女性大会」の参加や「エプロンピック」「男女平等参画集会」「女性のつどい」のほかに「子どもの夢を育てるまつり」の出店など、役員一同、力を合わせて行ってきたいと思えます。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

個人加入を受け付けております

今までは、各町内会地域会女性部のみが加入対象でしたが、個人加入もできるようになります。会費はかかりませんのでどうぞお気軽に加入してください。

■申し込み

千葉 博子
 (☎485-3800)
 江口サチ子
 (☎485-11051)

会の動き

- 5月8日：釧女連総会
- 5月25日：釧路地区男女平等参画総会
- 予定
- 7月15日：標茶町戦争犠牲者追悼式
- 7月22日：子どもの夢を育てるまつり
- 9月14～15日：全道女性大会（洞爺）